



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月1日

上場会社名 カシオ計算機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6952 URL <http://casio.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 樫尾 和雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・IR担当

(氏名) 高木 明德

TEL 03-5334-4852

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	256,787	△16.1	9,085	—	8,637	—	4,649	—
22年3月期第3四半期	306,179	△20.9	△20,459	—	△17,488	—	△14,463	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	17.04	15.58
22年3月期第3四半期	△52.14	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	402,550	151,743	37.7	564.09
22年3月期	429,983	168,857	37.3	577.38

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 151,660百万円 22年3月期 160,184百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	15.00	15.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	△12.4	15,000	—	13,000	—	7,000	—	26.04

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 — ）、除外 一社（社名 — ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 279,020,914株 22年3月期 279,020,914株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 10,164,602株 22年3月期 1,589,837株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 272,852,406株 22年3月期3Q 277,420,160株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における内外経済は、新興国の堅調な需要や各国の財政政策に支えられ、回復の兆しが見え始めたものの、一方で欧州諸国の財政問題に対する懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

この環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、事業統合による子会社の連結除外に伴う影響により、対前年同期比16.1%減の2,567億円となりました。セグメント別について見ますと、コンシューマは1,939億円となりました。デジタルカメラは、芸術的な写真が簡単に撮れるHDRアート機能を搭載した「EX-ZR10」など、計10機種を投入しました。時計は「G-SHOCK」や「EDIFICE」といったブランドが、世界的なプロモーション活動の効果もあり、北米やアジアを中心とした海外で好調に推移しました。また、女性向けメタルアナログウォッチ「SHEEN」のラインナップを拡充しました。電子辞書は、引き続き国内で圧倒的なトップシェアを確保し、中国でも売上規模を拡大しました。システムは324億円、その他は303億円となりました。

損益につきましては、コンシューマは130億円の営業利益となりました。時計や電子辞書は引き続き高収益性を維持しました。システムは18億円の営業損失、その他は5億円の営業利益となりました。この結果、調整後の連結合計として90億円の営業利益となりました。また、経常利益は86億円、四半期純利益は46億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権、無形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末比274億円減少し、4,025億円となりました。純資産は、自社株取得、少数株主持分の変動などにより、前連結会計年度末比171億円減少し、1,517億円となりました。その結果、自己資本比率は37.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは86億円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは117億円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは203億円の収入となりました。また、事業統合による子会社の連結除外に伴う影響がありましたが、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比84億円増加し、1,222億円となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的且つ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での平成23年3月期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成22年5月12日公表）に対して変更はありません。

当グループは今後も全世界で通用する独自技術を活かした新製品の積極的な世界展開により、長期的視点に立った収益力強化、経営・財務体質強化に取り組みます。

## (注) 業績見通しについて

①為替水準は1US\$=80円、1ユーロ=110円を想定しております。

②業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### 2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 3. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。この変更が損益に与える影響はありません。

#### 2. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は6百万円、税金等調整前四半期純利益は158百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は219百万円であります。

#### 3. 企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日公表分）を適用しております。この変更が損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,687	52,756
受取手形及び売掛金	63,139	75,565
有価証券	61,844	53,428
製品	31,786	32,794
仕掛品	4,900	5,700
原材料及び貯蔵品	9,542	12,128
その他	39,333	43,706
貸倒引当金	△516	△627
流動資産合計	268,715	275,450
固定資産		
有形固定資産	67,298	71,657
無形固定資産	6,140	13,348
投資その他の資産		
投資有価証券	46,863	53,155
その他	13,591	16,434
貸倒引当金	△57	△61
投資その他の資産合計	60,397	69,528
固定資産合計	133,835	154,533
資産合計	402,550	429,983

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,327	66,219
短期借入金	13,760	15,846
1年内返済予定の長期借入金	5,200	450
未払法人税等	3,011	3,481
製品保証引当金	1,012	1,946
事業構造改善引当金	—	3,100
その他	37,100	62,073
流動負債合計	116,410	153,115
固定負債		
社債	25,000	10,000
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	41,000	28,000
退職給付引当金	10,862	10,012
役員退職慰労引当金	2,728	2,666
その他	4,807	7,333
固定負債合計	134,397	108,011
負債合計	250,807	261,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	65,703	65,704
利益剰余金	56,200	55,712
自己株式	△8,588	△3,519
株主資本合計	161,907	166,489
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,944	3,131
繰延ヘッジ損益	△264	△287
為替換算調整勘定	△11,927	△9,149
評価・換算差額等合計	△10,247	△6,305
少数株主持分	83	8,673
純資産合計	151,743	168,857
負債純資産合計	402,550	429,983

(2) 四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	306,179	256,787
売上原価	235,245	171,036
売上総利益	70,934	85,751
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	25,113	23,081
その他	66,280	53,585
販売費及び一般管理費合計	91,393	76,666
営業利益又は営業損失(△)	△20,459	9,085
営業外収益		
受取利息	874	708
為替差益	1,402	347
金利スワップ評価益	1,006	114
その他	1,515	595
営業外収益合計	4,797	1,764
営業外費用		
支払利息	639	609
持分法による投資損失	—	747
その他	1,187	856
営業外費用合計	1,826	2,212
経常利益又は経常損失(△)	△17,488	8,637
特別利益		
固定資産売却益	14	7
投資有価証券売却益	1,660	0
ゴルフ会員権売却益	—	18
特別利益合計	1,674	25
特別損失		
固定資産除却損	625	284
投資有価証券評価損	1,000	22
特別退職金	578	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	152
その他	83	21
特別損失合計	2,286	479
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,100	8,183
法人税等	5,921	3,987
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△24,021	4,196
少数株主損失(△)	△9,558	△453
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14,463	4,649



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,100	8,183
減価償却費	21,945	10,097
固定資産除売却損益(△は益)	611	277
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,660	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	1,000	22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,085	931
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	63
受取利息及び受取配当金	△1,007	△899
支払利息	639	609
為替差損益(△は益)	△504	△25
売上債権の増減額(△は増加)	7,868	△4,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,637	△10,927
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,999	14,782
その他	4,111	△7,271
小計	△653	11,245
利息及び配当金の受取額	1,326	1,178
利息の支払額	△689	△522
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	519	△3,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	503	8,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,325	△2,858
定期預金の払戻による収入	1,880	2,627
有形固定資産の取得による支出	△4,765	△4,030
有形固定資産の売却による収入	36	29
無形固定資産の取得による支出	△15,341	△3,144
投資有価証券の取得による支出	△3,027	△5,034
投資有価証券の売却及び償還による収入	12,634	3,569
関係会社株式の取得による支出	△7	△1,866
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△871
その他	△325	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,240	△11,740

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,325	△2,086
長期借入れによる収入	—	18,000
長期借入金の返済による支出	△10,250	△250
社債の発行による収入	—	14,924
自己株式の取得による支出	△3	△5,003
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,794	△1,091
配当金の支払額	△6,380	△4,161
その他	8	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,094	20,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△2,472
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△21,871	14,752
現金及び現金同等物の期首残高	104,248	113,784
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△6,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,377	122,279

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日) (単位:百万円)

	エレクトロニクス機器事業	デバイス その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	271,068	35,111	306,179	—	306,179
(2) セグメント間の内部売上高	450	14,422	14,872	△14,872	—
計	271,518	49,533	321,051	△14,872	306,179
営業損失(△)	△14,487	△2,401	△16,888	△3,571	△20,459

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品、サービスの内容及び販売市場、顧客の種類により「コンシューマ」、「システム」及び「その他」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品及びサービスの種類は次のとおりであります。

コンシューマ…ウオッチ、クロック、電子辞書、電卓、電子文具、電子楽器、デジタルカメラ等  
システム…ハンディターミナル、電子レジスター(POS含む)、オフィス・コンピューター、ページプリンタ、データプロジェクター等  
その他…WLP受託加工、LCD、金型等

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日) (単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	193,974	32,467	30,346	256,787	—	256,787
(2) セグメント間の内部売上高	16	414	4,670	5,100	△5,100	—
計	193,990	32,881	35,016	261,887	△5,100	256,787
セグメント利益 又は損失(△)	13,044	△1,892	562	11,714	△2,629	9,085

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,629百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,629百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日公表分)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。